

【集計報告】

2019 年 6 月 3 日（月）～4 日（火）連合全国一斉集中労働相談ホットライン 「女性のための労働相談ホットライン ～職場で悩むあなたを応援(サポート)します～」

全国の地方連合会において、2019 年 6 月 3 日（月）～4 日（火）に取り組んだ連合全国一斉集中労働相談ホットラインの集約結果を報告する。連合は、男女雇用機会均等法の公布月である 6 月を「男女平等月間」と定め、連動した取り組みとして、2013 年以降「男女平等」をテーマに全国一斉集中労働相談ホットラインを実施している。

今回は「職場で悩むあなたを応援(サポート)します！」をテーマに実施、女性の相談員を多く配置し、女性が安心して相談できる体制を整えた。男性を含めた 2 日間の相談合計件数は 547 件、その内女性からの相談は 403 件であった。以下、集約概要（女性のみ）について報告する。

～全体の特徴～

1. 正社員とパートタイマーからの相談がそれぞれ約 3 割強

労働相談件数（403 件）は、昨年よりも増加（前年は 3 日間で 360 件）。年代別では、40 代（32.2%）、50 代（23.7%）、30 代（18.9%）の順で多かった。雇用形態別では、正社員からの相談（36.5%）が最も多く、次いでパートタイマー（33.3%）、派遣社員（6.0%）となった。また、業種別では、「医療・福祉」（27.2%）、「卸売・小売業」（15.2%）、サービス業（14.9%）の順で多かった。

2. 詳細内容では「パワハラ・嫌がらせ」がトップ

相談内容を詳細別でみると、「パワハラ・嫌がらせ」（23.8%）に関する相談が最も多く、次いで「解雇・退職強要・契約打切」（8.2%）、「年次有給休暇」（7.4%）となった。「男女平等」をテーマに集中労働相談を開始した 2013 年以降、ハラスメントに関する相談は常にトップであり、今回も「ハラスメント（パワハラ・嫌がらせ、セクハラ、マタハラ）」に関する相談が全体の約 3 割（27.3%）を占めた。具体的な相談内容は、「上司と同僚から無視される」「介護施設利用者からセクハラを受けている」「妊娠をしたところ、勤務先から『退職してほしい』と言われた」などである。2019 年 5 月にハラスメント対策に関する法律が制定するなど法制度の整備は進んでいるものの、まだまだ不十分である実態が明らかとなった。ハラスメント行為そのものの禁止や社外の労働者に対するハラスメントの規制を強化するなど更に進んだ法整備が必要であると言える。

※総件数:547(以下、女性のみ集計)

		2019年		
集計対象期間	6月3日～4日			
受付件数(受付件数のみ報告分含)	403			
報告(本部・地方)数	48			
項目	内容	件数	割合	
年代 (不明除く)	10代	2	0.7%	
	20代	28	10.4%	
	30代	51	18.9%	
	40代	87	32.2%	
	50代	64	23.7%	
	60代	34	12.6%	
	70代	4	1.5%	
雇用形態 (不明除く)	正社員	147	36.5%	
	パートタイマー	134	33.3%	
	アルバイト	18	4.5%	
	派遣社員	24	6.0%	
	契約社員	18	4.5%	
	嘱託社員(再雇用含)	8	2.0%	
	臨時・非常勤職員	8	2.0%	
	その他	46	11.4%	
業種(上位) (不明除く)	1位	医療・福祉	75	27.2%
	2位	卸売・小売業	42	15.2%
	2位	サービス業(他に分類されないもの)	41	14.9%
	4位	製造業	34	12.3%
	5位	飲食店、宿泊業	22	8.0%
相談内容(上位) (未報告除く)	1位	差別等	117	29.0%
	2位	労働時間関係	46	11.4%
	3位	雇用関係	44	10.9%
	4位	労働契約関係	41	10.2%
	5位	賃金関係	35	8.7%
詳細項目(上位) (未報告除く)	1位	パワハラ・嫌がらせ	96	23.8%
	2位	解雇・退職強要・契約打切	33	8.2%
	3位	年次有給休暇	30	7.4%
	4位	退職手続	25	6.2%
	5位	雇用契約・就業規則	22	5.5%
情報源・ルート (不明除く)	新聞・雑誌	59	15.7%	
	ラジオ・テレビ	112	29.9%	
	ビラ・チラシ・パンフ(折込含)	43	11.5%	
	ホームページ	113	30.1%	
	SNS(フェイスブック・ツイッター)	8	2.1%	
	紹介	14	3.7%	
	その他	26	6.9%	

【参考】連合本部 LINE労働相談受付件数(6月3～4日) 62件

～寄せられた相談～

【ハラスメント関係】

- 会社で上司と同僚2名から無視されている。仕事上の連絡もしてもらえず困っている。社長に事実を伝え、6月末退職を申し出たものの、そのまま放置されている。（女性、正社員、近畿）

- 2～3ヶ月前に採用された。同じことを二度聞くと「覚えが悪い」「仕事が遅い」など、ひどく怒鳴られる。仕事や雇用契約などについて聞くと、上司はめんどくさそうにして教えてくれない上に「話した時間が無駄だった」など言われた。（女性、50代、パート、卸売・小売業、中部）

- 特別養護老人ホームで清掃等のパートとして仕事をしている。特定の利用者から言い寄られている。清掃担当の部屋を変更するなど配慮してもらったが、共用部分でも人目がない時に抱きつかれたり、体を触られたり、すりつけられたりする。上司には適宜相談・対応をしてもらっているものの、今まで起こったことに対し、施設として利用者本人に話をしていないことに不満がある。（女性、50代、パートタイマー、医療・福祉、東北）

- 勤め始めて1年になる。妊娠したところ、「うちのような中小零細企業で長期間休まれると会社として持たない。できれば早めに退職をしてもらいたい」と言われた。（女性、30代、正社員、製造業、四国）

【その他】

- 働き始めて9カ月（週30時間以上週5日勤務）だが、有給休暇がない。20年以上勤務している同僚も有給休暇がないと言っている。契約書などもない状況だ。（女性、40代、パートタイマー、製造業、東北）

- 3月の契約更新で契約時間数を減らされたため、同じ業界に転職先を見つけた。辞める前に有給休暇を申し出たが、「小さな会社で、今の時期は忙しいから有給休暇の取得は出来ない」と断られた。また関連会社に悪い評判を流されており、転職先にも影響しないかと不安だ。（女性、契約社員、中部）

- 介護職をしている。勤務時間が17時～翌9時で、休憩・仮眠がなく7日間連続して働いている。有給休暇や時間外・深夜割増賃金支払いもなく、最近では体調も悪くなってきた。（女性、50代、アルバイト、医療・福祉、東北）

以上